

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 20 年 1 月 17 日 (2008.1.17)

【公表番号】特表 2007-525699 (P2007-525699A)

【公表日】平成 19 年 9 月 6 日 (2007.9.6)

【年通号数】公開・登録公報 2007-034

【出願番号】特願 2006-547262 (P2006-547262)

【国際特許分類】

**G 0 3 B 21/00 (2006.01)**

**H 0 4 N 9/31 (2006.01)**

**H 0 4 N 13/04 (2006.01)**

**H 0 1 S 3/00 (2006.01)**

**G 0 2 B 27/26 (2006.01)**

**G 0 2 B 26/10 (2006.01)**

**G 0 9 G 3/02 (2006.01)**

【F I】

G 0 3 B 21/00 Z

H 0 4 N 9/31 C

H 0 4 N 13/04

H 0 1 S 3/00 A

G 0 2 B 27/26

G 0 2 B 26/10 1 0 4 Z

G 0 9 G 3/02 R

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 11 月 16 日 (2007.11.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像を視覚可能にするための配列であって、

該配列は、

対向している視覚面を有している偏光スクリーンと、

観察者が視覚するために該スクリーンに画像を投影するプロジェクターであって、該プロジェクターは、複数の異なる偏光であって、相互に直交する偏光のレーザービームを発するアセンブリと、複数のピクセルから構成される走査線に沿って該複数の偏光のうちの 1 つの偏光のレーザービームのうちの 1 つのレーザービームを掃引するスキャナであって、該走査線上の該複数のピクセルのうちの選択されたピクセルは、該 1 つのレーザービームによって照らされて、該スクリーンの該面のうちの 1 つの面上に第 1 のサブ画像を形成する、スキャナと

を備えており、

該スキャナはまた、複数のピクセルから構成されるさらなる走査線に沿って該複数の偏光のうちの別の偏光の別のレーザービームを掃引するように作用し、該さらなる走査線上の該複数のピクセルのうちの選択されたピクセルは、該別のレーザービームによって照らされて、該スクリーンの該面のうちの別の面上に第 2 のサブ画像を形成し、該第 1 のサブ画像と該第 2 のサブ画像とはともに、該観察者によって視覚可能である、配列。

## 【請求項 2】

前記スキャナは、前記複数のレーザービームの各々を、複数の相互に直交する方向に沿って掃引することにより、前記サブ画像の各々をラスタパターンとして形成し、該第 1 のサブ画像は、前記スクリーン上で該第 2 のサブ画像と交替する、請求項 1 に記載の配列  
。

## 【請求項 3】

前記アセンブリは、前記 1 つの偏光の前記 1 つのレーザービームを発する第 1 のセットのレーザーと、前記別の偏光の前記別のレーザービームを発する第 2 のセットのレーザーとを含んでいる、請求項 1 に記載の配列。

## 【請求項 4】

各セットのレーザーは、赤色レーザーと、青色レーザーと、緑色レーザーとを含んでいる、請求項 3 に記載の配列。

## 【請求項 5】

前記アセンブリは、前記 1 つの偏光の前記 1 つのレーザービームを発する複数のレーザーと、該 1 つのレーザービームを回転させて前記別の偏光の前記別のレーザービームを形成する偏光回転子とを含んでいる、請求項 1 に記載の配列。